

5月の薫風の季節のことです。新型コロナウイルス感染がなかなか収まらず、東京や大阪では緊急事態宣言がさらに延長となり、このまま梅雨入りを思わせるような空模様が続いていました。

そんなとある休日、雨上りの午後ウオーキングをしました。い つもですと車で通る道も歩いてみると端々には雑草とは思えない 程の沢山の種類のきれいな花々が咲き誇っていました。

周辺の山々を見上げると緑が生い茂り、木の枝のすき間から は多くの鳥たちのさえずり、とりわけウグイスの大きな鳴き 声、「ホーホケキョ」が何度も聞こえ、思わず「ウマイ」と発し

てしまいました。一説によると、親鳥が子に鳴き方を教えているそうです。事実かどうかはわかりませんが…。 人間社会のさわぎなど全く知らん顔で我が世の春を謳歌しているようでした。橋を渡ると豊かな水の中には小 魚が群れをなして泳いでいました。

わずかな時間でしたが、自然環境の中に身をおき、少し汗をかきながらも、心が洗われるひと時でした。

松本恒夫